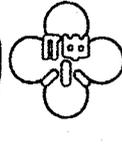


平成24年度
NO. 5
9月3日発行
9月号

仲町だより



なかよく
まなぼう
ちからいっぱい
練馬区立仲町小学校

心を新たに

校長 澤井 英子

長い休みが終わり、学校に元気な声が戻ってきました。休み中大きな事故もなく過ごせたことは、保護者や地域の皆さんのおかげと、ありがたく存じます。

この夏は、オリンピックやパラリンピックの他、国内外でたくさんのスポーツ大会が開催され、日本選手の活躍に一喜一憂したものです。大会に出場している選手だけでなく、若い選手の台頭もあり、選手層の厚さを感じます。また、どの大会でも、日本選手一人一人の粘り強さと、チーム力の高さが評価されていました。

本校の合い言葉は、「チーム仲町」。子供同士のかかわりの場を広げ、チーム力を高め、教職員一丸となって粘り強く指導して参ります。

【熱中症対策】

厳しい残暑で、屋外での活動が難しい程の日がありそうです。水分補給を徹底し、時には、長時間の屋外での活動を制限し、熱中症の予防に努めます。

ご家庭でも、『早寝・早起き・朝ご飯』体調を整え、健康管理をお願いします。

体育館への渡り廊下に、区から全校に配布された、ミストシャワーキットを設置しました。暑い時間帯に、水圧だけで散布するミストシャワーは、エコで清涼感を得られ、ほっとできる場になることを願っています。

また、ウォータークーラー（自動飲料供給機）を東昇降口に設置しました。これは、ベルマークで購入していただいたものです。保護者の方のご協力に厚くお礼申し上げます。とはいえ、730名の児童に対し、6台のウォータークーラーでは、とても足りず、長蛇の列ができます。学校の水道水は十分おいしいのですが、冷たい飲み物に慣れた子供たちは、飲みたがりません。毎日の水筒の準備など、ご配慮下さい。

【学校と家庭】

8月25日・26日に練馬区小学校PTA連合協議会の宿泊研修がありました。河口教育長先生始め、区教育委員会の方々、PTA会長・副会長と校長の研修会です。

『教育における学校の役割・家庭の役割』とのテーマで、小グループ毎に熱心な話し合いが行われました。全体会では、教育の原点は家庭にあること。家庭ですべきこと・学校ですべきことは何か。それぞれの要望など、理解を深めることができました。さらに学校と保護者が、今まで以上にコミュニケーションを図り、協力していくことを再確認しました。

夏休み前に、全都でいじめに対するアンケートを行いました。本校でも、いじめを訴える子や、学級の子供が、いじめではないかと心配する回答もありました。それぞれに対し、担任が事実関係を確認後、三者面談等で各家庭にお伝えしています。

私の教育信条は、『どの子も我が子』730名余の子供たちを50名余の全教職員で指導している体制をとってきました。問題行動には、早期発見・早期対応してきたつもりです。そして、各担任の学級経営に対し、研修を深めてきました。

また、学校生活支援員を中心に、廊下の巡回を行い、職員朝会等で大人の目が行き届かない時間にも、各階に必ず1人以上を配置してきました。休み時間の終わりなど、昇降口が混雑し、トラブルが発生しやすい時間には、担当の教員だけでなく、安全・安心ボランティアの皆さんにも、子供たちへの声かけをお願いします。その結果、学校全体が穏やかになってきたと感じています。

今後は、心のふれあい相談員も廊下を巡回し、困っている子に寄り添えるよう取り組みます。

お子さんの様子等、気になることがありましたら、早めにお知らせ下さい。